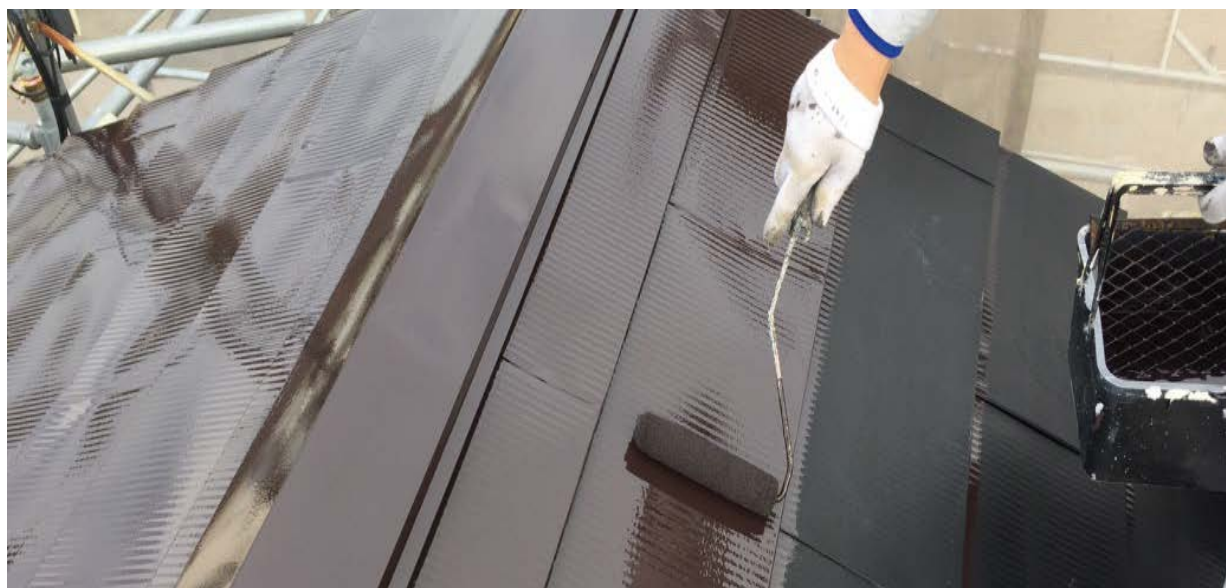




金属屋根専用ハイソリッド型1回塗り塗料

PSマイルド[®]Sコート

高級感
工期短縮



当社で最も耐候性の信頼を得ている「PSマイルド(パワーシリコンマイルドⅡ)」の性能を保持しつつ、塗料中の固形分を高く(ハイソリッド)することで、**1回塗り(Single コート)**で**2回塗り同等の性能を賢く発揮(Smart コート)**します。
その仕上がりは光沢や肉持ち感に優れ、屋根用塗料ラインナップの中でも**最高の外観**を提供します。

1 最高の仕上がり



■ 優れた光沢

PSマイルドSコート

一般的な塗料(2回塗り)
(光沢値85程度)

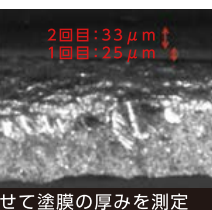
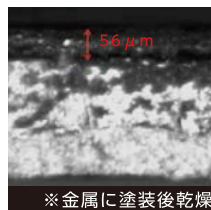


PSマイルドSコートの塗膜(光沢値90程度)は、
写り込んだ文字まではっきり見えています。

■ ぜいたくな肉持ち感

PSマイルドSコート

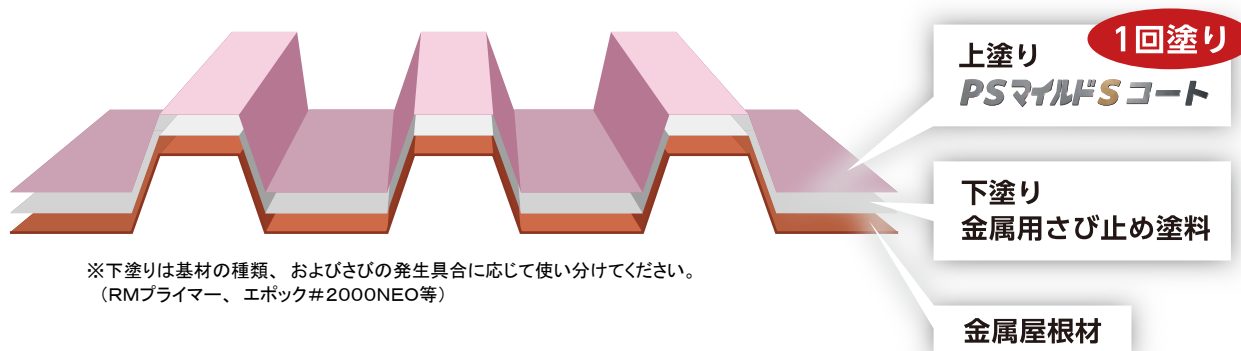
一般的な塗料(2回塗り)



※金属に塗装後乾燥させて塗膜の厚みを測定

1回でしっかりと塗装することができるため、
肉持ち感に溢れる仕上がりになります。

2 工期短縮

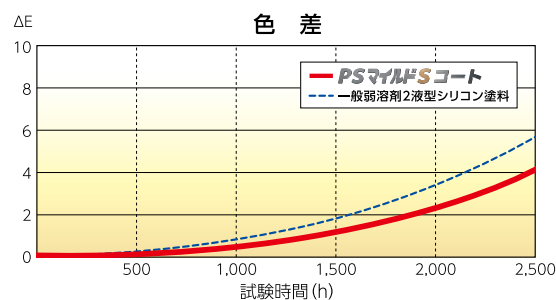
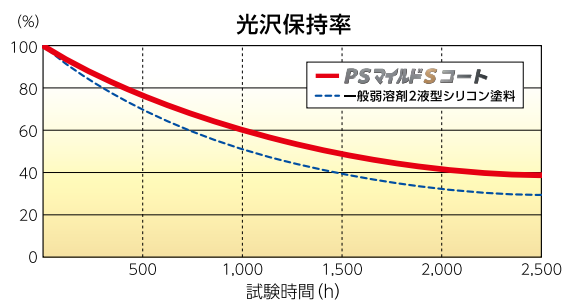


お引き渡しまでの時間を短く!

塗装作業中にはおいや換気など様々な面でご迷惑をおかけしますが、工期を短縮することで通常より早くお引き渡しが可能となります。

3 高耐候性

〈促進耐候性結果〉



スーパーキセノン (放射照度180w/mi)

防カビ性・防藻性

水溶性成分を含んでいないため、優れた防カビ・防藻性を発揮します。

低汚染性

2液型の強固なシリコン変性樹脂が汚れにくい塗膜を形成し、優れた低汚染性を発揮します。

希釈不要

希釈シンナーが不要のため、安定した厚みと性能を提供します。

優れた乾燥性

一般的なハイソリッド型と比較して乾燥性に優れるため、夜露等による白化・艶引けが起きにくくなります。

塗装仕様

●さびの発生が軽度な場合

■下塗りに RM プライマーを使用する場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)	
								工程間	最終養生
素地調整	・さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。								
下塗り	RMプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	5～15% (RMシンナー)	ハケ ローラー	0.11～0.15	1	100～136	3h以内	4h以上 10日以内	—
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	無希釈 ※ ¹	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	4h以内	—	24h以上

※1 希釈シンナーは不要です。

・希釈が必要な場合は季節に応じたRMシンナーをご使用ください。

・希釈の上限は3%/15kgセットまでとしてください。

・希釈が多いと規定膜厚にならない場合があります。

●塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

●昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易いため、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

■下塗りにエポックマイルド # 1 0 0 0を使用する場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)	
								工程間	最終養生
素地調整	・さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。								
下塗り	エポックマイルド#1000 15kg	15～20% (RMシンナー)	ハケ ローラー	0.14～0.16	1	94～107	—	4h以上 10日以内	—
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	無希釈 ※ ¹	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	4h以内	—	24h以上

※1 希釈シンナーは不要です。

・希釈が必要な場合は季節に応じたRMシンナーをご使用ください。

・希釈の上限は3%/15kgセットまでとしてください。

・希釈が多いと規定膜厚にならない場合があります。

●塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

●昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易いため、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

●さびの発生が著しい場合

■下塗りにエポック # 2 0 0 0 NEO を使用する場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)	
								工程間	最終養生
素地調整	・さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。								
下塗り	エポック#2000NEO 主剤 13.5kg 硬化剤 1.5kg	0～10% (塗料用シンナーA またはRMシンナー)	ハケ ローラー	0.14～0.16	1	94～107	6h以内	5h以上 7日以内	—
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	無希釈 ※ ¹	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	4h以内	—	24h以上

※1 希釈シンナーは不要です。

・希釈が必要な場合は季節に応じたRMシンナーをご使用ください。

・希釈の上限は3%/15kgセットまでとしてください。

・希釈が多いと規定膜厚にならない場合があります。

●塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

●昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易いため、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

■ 可使時間

100%の性能を発揮するために！

■ 可使時間を越えて塗料を使用すると物性低下に繋がるため、可使時間以内にご使用ください。

■ 初期耐水性発現時間

気温	硬化促進剤添加量	
	添加無し	150g
40℃以上		
35℃	-	-
30℃		
25℃		
20℃	24時間以上	6時間以内※1
15℃	24時間以上	6時間以内※1
10℃±2℃	-	-
6℃±1℃		

■ 可使時間

気温	硬化促進剤添加量	
	添加無し	150g
40℃以上	2時間以内(硬化剤S)※2	-
35℃	3時間以内(硬化剤S)※2	-
30℃	3.5時間以内(硬化剤S)※2	-
25℃	4時間以内	-
20℃	4時間以内	2時間以内
15℃	5時間以内	2時間以内
10℃±2℃	-	2時間以内※3
6℃±1℃	-	3.5時間以内※3

※1 春先、秋口の塗装後夜露による白化の恐れがある場合は、硬化促進剤を添加してください。

※2 30℃以上の場合は、硬化剤Sをご使用ください。

※3 10℃以下の場合は、硬化促進剤を添加してください。

●同じ温度でも、塗料のカラーによって、硬化性が異なります。

●施工時の基材温度や風、日当たり状況等によって変化しますのでご注意ください。

●外温が20℃以上で、屋根温度が上昇しているときに硬化促進剤を使用しますと、乾燥後の光沢低下につながります。

■ PS マイルド S コートの材料選定について

- 硬化剤 硬化剤 A
硬化剤 S (夏用)

・硬化剤は2種類あります。気温が30℃を超え基材が高温になっている場合には「硬化剤S」をご使用ください。

- 硬化促進剤

硬化促進剤の使用方法

・硬化促進剤の缶をよく振ってから、塗料主剤に添加、良く攪拌。
その後、塗料硬化剤を添加し、再度攪拌してください。
(缶の振りや攪拌状態によって、硬化促進剤の効きが変わります。)

- 希釈シンナー

希釈不要！

※ 希釈シンナーは不要です

・希釈が必要な場合は季節に応じたRMシンナーをご使用ください。
シンナーは、A:春秋用、S:夏用、W:冬用
・希釈の上限は3%/15kgセットまでとしてください。
・希釈が多いと規定膜厚にならない場合があります。

■ さび止め塗料の選定について

- さびの発生が軽度な場合

◆ 弱溶剤系 2 液型ポリウレタン樹脂さび止め塗料

RMプライマー

・下塗り塗料でも耐候性良好！
・防錆性能○
・幅広い基材適合（特にガルバリウム鋼板への付着性は◎）
・取扱色：白、グレー、赤さび、黒、クリーム

◆ 弱溶剤系 1 液型エポキシ樹脂さび止め塗料

エポックマイルド #1000

・1 液タイプで作業性良好
・防錆性能○
・取扱色：クリーム、グレー、ブラウン、黒

※非鉄金属には RM プライマーをご使用ください。

- さびの発生が著しい場合

◆ 弱溶剤系 2 液型変性エポキシ樹脂さび止め塗料

エポック #2000NEO

・優れた防錆性能◎
・取扱色：クリーム、グレー、ブラウン、黒

※非鉄金属には RM プライマーをご使用ください。

標準色

- | | |
|------------------|--------------------|
| ●No.10 マルーン | ●No.67 ノースブラック |
| ●No.12 ブラウン | ●No.72 カカオブラウン |
| ●No.16 黒 | ●No.73 ニューコーヒーブラウン |
| ●No.25 ウェザードグリーン | ●No.74 モスグリーン |
| ●No.32 セルリアンブルー | ●No.77 ブルーブラック |
| ●No.42 ナスコン | ●No.79 ノアール |

用 途

各種金属系屋根材

●カラー鋼板

- ・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板
- ・塗装アルミニウム板
- ・塗装ガルバリウム鋼板

●アルミニウム板

●アルミ合金メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)

※銅板、フッ素鋼板、塩化ビニル鋼板、一部鉄部については別途屋根用塗料施工マニュアルを参照してください。

金属の種類によっては付着しないものもあります。
詳しくは当社営業担当にお問い合わせください。

荷 姿

PSマイルドSコート主剤	12 kg
PSマイルドSコート硬化剤A	3 kg
PSマイルドSコート硬化剤S(夏用)	3 kg
PSマイルドSコート硬化促進剤	150 g
	800 g

※希釈が必要な場合はRMシンナーをご使用ください。



注意事項

PS マイルド S コートはハイソリッド型 1 回厚塗りタイプのため、下記の注意事項を厳守してください。

- ・夜露や降雨等によるトラブル（艶引け・耐水白化・汚染等）を避けるため、「塗装後乾燥時間（目安）」を参考に塗装終了時間を設定してください。
- ・5℃以下での塗装は避けてください。

規定の塗付量を守り均一に塗装してください。膜厚が薄い部分は紫外線が透過し、下塗り（特にエポキシ樹脂系下塗り材）を早期に劣化させる可能性があります。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度（80%以上）・低気温（5℃以下）の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 35℃以上での塗装は、仕上がり感が悪くなるので、避けてください。
3. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
4. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
5. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起こりますのでご注意ください。
6. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
7. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
8. ローラー塗りの場合、毛丈 20mm 前後の中長毛ローラーを推奨いたします。
9. 金属屋根のはぜ部分など、構造上膜厚がつきにくい部分は、さびが生じやすいため、拾い塗りなどでしっかりと塗装してください。
10. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
11. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
12. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
13. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
14. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC 等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
15. 塗装による臭気は、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
16. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください（専用シンナーをご使用ください）。
4. 2 液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
5. 2 液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
6. 2 液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
7. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
8. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず RM シンナーをご使用ください。
9. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
10. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
11. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
12. 2 液型塗料は、硬化が不十分な場合は RM シンナーで再溶解する場合があります。
13. 2 液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早めに使い切ってください。
14. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設！
ID：@521kgmun



水谷HPは
こちら↓



本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大 阪 支 店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東 京 支 店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中 部 支 店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広 島 支 店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福 岡 支 店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 007-0850	札幌市東区北50条東2丁目3-12	☎ (011) 702-5556 FAX (011) 702-5557
工 場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2608